

2023 年 10 月 29 日

主日礼拝

(聖書講習会@名古屋 KKR ホテル)

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒100 番 (旧 51 番)

『造り主は』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 13:9 節 (MA 兄)

『隣人を自分のように愛しなさい』

(祈)

礼拝讃美歌⇒277 番

『われらの讃美は』

聖書⇒詩編 85:9~11 節 (ES 姉)

『わたしは神が宣言なさるのを聞きます。主は平和を宣言されます／
御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に／彼らが愚かなふるまいに戻らないように。

主を畏れる人に救いは近く／栄光はわたしたちの地にとどまるでしょう。

慈しみとまことは出会い／正義と平和は口づけし』

聖書⇒ヨハネによる福音書 1:17~18 節

『律法はモーセを通して与えられたが、**恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである**。いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。』

(祈)

礼拝讃美歌⇒219 番 (旧 146 番)

『栄えにて』

聖書⇒詩編 46 編（交読）（KH 兄）

『【指揮者に合わせて。コラの子の詩。アラモト調。歌。】

神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。

わたしたちは決して恐れない／地が姿を変え／山々が揺らいで海の中に移るとも

海の水が騒ぎ、沸き返り／その高ぶるさまに山々が震えるとも。〔セラ

大河とその流れは、神の都に喜びを与える／いと高き神のいます聖所に。

神はその中にいまし、都は揺らぐことがない。夜明けとともに、神は助けをお与えになる。

すべての民は騒ぎ、国々は揺らぐ。神が御声を出されると、地は溶け去る。

万軍の主はわたしたちと共にいます。ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。〔セラ

主の成し遂げられることを仰ぎ見よう。主はこの地を圧倒される。

地の果てまで、戦いを断ち／弓を砕き槍を折り、盾を焼き払われる。

「力を捨てよ、知れ／わたしは神。国々にあがめられ、この地であがめられる。」

万軍の主はわたしたちと共にいます。ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。〔セラ』

礼拝讃美歌⇒303 番（旧 99 番）

『主こそわが力』

礼拝讃美歌⇒229 番（旧 239 番）

『主よわが主よ』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11:23~26 節（KH 兄）

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

（式）

礼拝讃美歌⇒148 番（旧 94 番）

『主の御旨により』

《建徳》

聖書⇒使徒言行録 2 章 36~42 節 (SK 兄)

『だから、イスラエルの全家は、はっきり知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです。』人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか」と言った。すると、ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。」ペトロは、このほかにもいろいろ話をして、力強く証しをし、「邪悪なこの時代から救われなさい」と勧めていた。ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 12 章 27~28 節

『あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。神は、教会の中にいろいろな人をお立てになりました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、次に奇跡を行う者、その次に病気をいやす賜物を持つ者、援助する者、管理する者、異言を語る者などです。』

聖書⇒使徒言行録 2:25 節

『ダビデは、イエスについてこう言っています。『わたしは、いつも目の前に主を見ていた。主がわたしの右におられるので、／わたしは決して動揺しない。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 21:15~17 節 (KH 兄)

『食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか (アガペー)」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがお存じです」と言うと、イエスは、「わたしの小羊を飼いなさい」と言われた。二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。 (アガペー)」ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがお存じです」と言うと、イエスは、「わたしの羊の世話をしなさい」と言われた。三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。 (フィレオー)」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何かもお存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 5:6~8 節

『実にキリストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な者のために死んでくださった。正しい人のために死ぬ者はほとんどいません。善い人のために命を惜しまない者ならいるかもしれません。し

かし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 13:4~7 節

『愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 3:18~19 節

『また、あなたがたがすべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、人の知識をはるかに超えるこの愛を知るようになり、そしてついには、神の満ちあふれる豊かさのすべてにあずかり、それによって満たされるように。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙二 5:14~15 節

『なぜなら、キリストの愛がわたしたちを駆り立てているからです。わたしたちはこう考えます。すなわち、一人の方がすべての人のために死んでくださった以上、すべての人も死んだことになります。その一人の方はすべての人のために死んでくださった。その目的は、生きている人たちが、もはや自分自身のために生きるのではなく、自分たちのために死んで復活してくださった方のために生きることなのです。』

礼拝讃美歌⇒438 番 (KH 兄)

『神はひとり子を』

《建徳要旨》